

非稼働病床の現況について

	医療機関名	所在市区	区分	病床数	非稼働病床の状況		計画		
					非稼働になった時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	国立病院機構 近畿中央呼吸器センター	堺市北区	①	全 365 床 中 34 床 非稼働	平成 30 年度	経営上の問題。 ※H30 年 8 月に病院建替を行い、その際に計 54 床が休床となったが、R2 年 5 月からそのうち 20 床をコロナ病床として稼働中。	病床を削減する	未定	新興感染症対策について、都道府県の医療計画に位置づけ、「行政と医療関係者で連携する」との議論中。その具体的な調整を経て検討。
2	堺咲花病院	堺市南区	①	全 310 床 中 90 床 非稼働	平成 30 年度	医師・看護師・理学療法士が不足しているため。	再稼働する	令和 6 年度中	継続して医療従事者の募集を行い、必要人員が揃い次第、随時稼働していく予定。現在、耐震基準を満たさない建物が一部あり、令和 7 年 2 月竣工を目的に新規建替を計画しているが、新型コロナウイルスにより、変更の可能性はある。
3	八木クリニック(休止中)	堺市堺区	①	全 2 床 中 2 床 非稼働	令和 3 年度	医療従事者が不足しているため。	再稼働する	未定	在籍医師 2 名のうち、1 名が出産と育児で復帰時期が未定であり、もう 1 名が加齢のため再稼働は未定。

4	磯野耳鼻咽喉科	堺市堺区	①	全4床 中4床 非稼働	平成8年度	入院が必要となる手術を行わなくなったため。	未定	未定	将来的に入院の必要な手術を行う可能性を考慮して休床しており、再稼働は未定。
5	たつみクリニック	堺市西区	①	全3床 中3床 非稼働	平成30年度	看護職員の必要数が確保できていないため。	再稼働する	令和6年度中	令和6年3月末までに看護職員を確保し、同年4月より病床再稼働予定。
6	竹山レディースクリニック(旧称:竹山産婦人科)	堺市南区	①	全9床 中9床 非稼働	平成26年度	人員の増員、建替、病床の削減について未だ検討中であるため。	未定	未定	建替計画を作成中であり、2025年を目途に方針を決める予定。
7	今井医院	堺市北区	①	全5床 中5床 非稼働	平成11年度	入院患者(分娩)の受入れを制限(中止)したため。	再稼働する	未定	産婦人科を取り巻く環境は厳しく、国は分娩の取扱をすすめながら、できもしない条件を押し付けるため未定。
8	なかもず女性クリニックヤギ(旧称:レディースクリニックヤギ)	堺市北区	①	全1床 中1床 非稼働	令和1年度	術後入院に備え、念のため病床を確保しておきたいが、基本的には非稼働のままであるため。	現状維持	—	—
9	池田産婦人科	堺市堺区	②	全9床 中5床 非稼働	平成29年度	現状の医療を継続するための医療従事者・事務従事者が不足しているため。	病床を削減する	令和5年度中	近々の閉院を予定している。

10	徳川レディースクリニック	堺市西区	①	全 1 床 中 1 床 非稼働	平成 21 年度	大阪府医師会母体保護指定施設としての認定要件を確保するため。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用せず。	—	—
11	山藤外科	堺市南区	①	全 10 床 中 10 床 非稼働	平成 10 年	医療従事者が不足しているため。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用どおりとし、他の目的で使用せず。	—	—
12	大田クリニック	堺市北区	①	全 19 床 中 8 床 非稼働	平成 27 年度	全病棟稼働に必要な看護師・看護補助者が足りないため。	再稼働する	未定	再稼働に向けた人員確保のため、求人中。しかし、現状は目標人数に達していない。また、新型コロナウイルスの外来対応にも影響されるため、再稼働時期は未定。
13	田村外科整形外科	堺市西区	①	全 3 床 中 3 床 非稼働	平成 4 年度	医療従事者が不足しているため。	再稼働する	未定	現在、医療従事者の確保が困難なため、具体的な再稼働のスケジュールは未定。
14	南大阪耳鼻咽喉科	堺市美原区	②	全 8 床 中 3 床 非稼働	平成 28 年	建替・移転計画などにより、患者の受入れを制限しているため。	再稼働する	未定	建物を新築すれば再稼働可能だが、予算の問題で現在保留中。工事を行う場合は、2、3年後の着手を想定。

※区分：①病棟単位で稼働していない病床がある。 ②病床単位で稼働していない病床がある。 ③病棟単位及び病床単位で稼働していない病床がある。